

4～5世紀の東アジア

【中国】 1長期の分裂→影響力の弱化→東アジア各民族が国家形成の動き

三国時代→2晋 (西晋) [265～316] ☆倭の女王(巷与?)が遣使 (266)

→北方民族の侵入(3五胡十六国)…晋は江南へ逃れる(東晋)

→4南北朝 時代[439～589] { 南朝 5宋・齊・梁・陳…漢民族国家
北朝 6北魏など…北方民族系の王朝

【朝鮮】 (北) 7高句麗 の成長→楽浪郡を滅亡[313]

(南)三韓 { 8馬韓諸国(約50国)→11百済 が統一
9辰韓諸国(12国)→12新羅 が統一
10弁韓諸国(12国)→小国の分立状態が続く



「13加羅」 「14伽耶」や「15任那」(日本書紀)と呼ばれた

4～5世紀のヤマト政権 (古墳前期・中期)

4世紀 約1世紀間、中国の文献に記録がない

16画一的な古墳文化が近畿を中心に全国(東北南部～九州)に広がっていた

=17ヤマト政権(大和朝廷)が全国へ勢力を拡大しつつあった時期

5世紀(4世紀末～)

(1) 18鉄資源や先進技術を求めて朝鮮半島へ出兵…19特に加羅諸国に強い影響を及ぼしていた

20高句麗好太王 (広開土王) 碑文 (『日本書紀』は「任那日本府」があったとする)

子²¹長寿王が父の功績をたたえるために、²²丸都城(現在 中国吉林省集安市)に立てる
²³辛卯の年=²⁴391 年以来、倭は朝鮮へ出兵し高句麗と交戦 ※辛卯…干支の1つ

(2) 25南朝 の諸王朝に遣使・朝貢→²⁶冊封を受ける(高い称号を得る)

①²⁷倭の五王 の遣使 (「²⁸宋書」・「²⁹晋書」・「³⁰南齊書」・「³¹梁書」)

²⁹讚・珍・齊・興・武 (珍は讚の弟、興は済の子、武は興の弟)

古事記や日本書紀で時期や血縁関係から当てはまる天皇をさがすと、讚は応神または履中、

珍は反正または仁徳、済は允恭、興は安康、武は³⁰雄略 天皇と推定されている。

②³¹478 年、³²倭王武の上表文 史料…³³「宋書」倭国伝

「³⁴祖禰(先祖)が³⁵毛人(東)・³⁶衆夷(西)・³⁷海北を制圧した」と述べている

…エミシ(蝦夷)? …クマソ(熊襲)?

ポイント ³⁷朝鮮諸国に対して有利な政治的地位の獲得を目指す ←

<例> 倭王武は「³⁸使持節都督倭百済新羅任那加羅秦韓慕韓七国諸軍事安東大將軍倭国王」を自称し、
「³⁹使持節都督倭新羅任那加羅秦韓六国諸軍事安東大將軍倭王」を獲得

☆考古学上の発見と文献資料が一致！

- ① 1978年、³⁸稲荷山 古墳[埼玉]出土³⁹鉄剣銘文が解読され、「⁴⁰獲加多支鹵大王」や「⁴¹辛亥年(471)」などの文字が確認される。
- ② この銘文の人名は「⁴²ワカタケル 大王」と読める。
 雄略天皇の本名は「大泊瀬幼武(オオハツセワカタケ)」であり、似ている。
 また、雄略は倭王武と推定されている。武も「タケル」とも読める。
 武の上表文は478年だが、稲荷山鉄剣銘文は471年で、ほとんど同じ時期である。
 →⁴³雄略天皇 = 倭王武 = ワカタケル大王とみてよい。
- ③ 1973年に発見されていた⁴⁴江田船山 古墳[熊本]出土⁴⁵鉄刀銘文に「獲□□□鹵大王」とあり、読み方不明だったのが、これで明らかになった。
 →同じ大王の支配が少なくとも関東から九州まで及んでいたことになる。
- ①～③から、倭王武が上表文で述べていた「毛人(東)・衆夷(西)・海北を制圧しているという話は誇張ではないことが分かる。

※この⁴⁶大王 がヤマト政権の首長→のちの天皇と考えられる

作業 図表44・48ページを見て位置を書き込みなさい。



- ①箸墓古墳 ②大仙陵古墳・誉田御廟山古墳 ③造山古墳 ④江田船山古墳
 ⑤埼玉古墳群(稲荷山古墳) ⑥五色塚古墳 ⑦竹原古墳 ⑧岩橋千塚古墳群
 ⑨岩戸山古墳 ⑩隅田八幡神社(和歌山県橋本市)

※干支…十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)と十二支(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)を組み合わせた60進法表示
 年・日などに使われた <例> 辛卯、辛亥、癸未、壬申(の乱)、戊辰(戦争)、甲子(園球場)

正誤問題練習 <大学入試センター1991年本試験[改]、95年追試験より>

- X. 『宋書』倭国伝には、倭王武が宋王朝に上表文を送り、高い称号を得ようとしたと記している。
 Y. 好太王(広開土王)碑文によると、倭が新羅・百済の領有をめぐって高句麗と戦った。

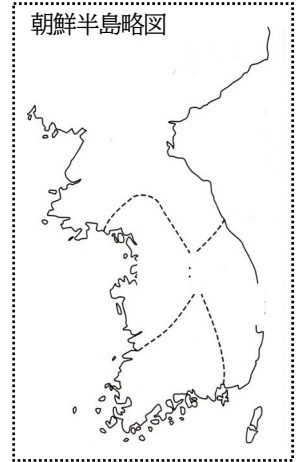
4～5世紀の東アジア

【中国】 1長期の分裂→影響力の弱化→東アジア各民族が国家形成の動き

三国時代→2 (西晋) [265～316] ☆倭の女王(巷与?)が遣使 (266)

→北方民族の侵入(3五胡十六国)…晋は江南へ逃れる(東晋)

→4 時代[439～589] { 南朝 5 . 齊・梁・陳…漢民族国家
北朝 6 北魏など…北方民族系の王朝



【朝鮮】 (北) 7 の成長→楽浪郡を滅亡[313]

(南)三韓 { 8 馬韓諸国(約50国)→11 が統一
9 辰韓諸国(12国)→12 が統一
10 弁韓諸国(12国)→小国の分立状態が続く

「13」 「14伽耶」や「15任那」(日本書紀)と呼ばれた

4～5世紀のヤマト政権 (古墳前期・中期)

4世紀 約1世紀間、中国の文献に記録がない

16画一的な古墳文化が近畿を中心に全国(東北部～九州)に広がっていた

= 17ヤマト政権(大和朝廷)が全国へ勢力を拡大しつつあった時期

5世紀(4世紀末～)

(1) 18鉄資源や先進技術を求めて朝鮮半島へ出兵…19特に加羅諸国に強い影響を及ぼしていた

20高句麗 () 碑文 (『日本書紀』は「任那日本府」があったとする)

子²¹長寿王が父の功績をたたえるために、²²丸都城(現在 中国吉林省集安市)に立てる
23辛卯の年=²⁴ 年以来、倭は朝鮮へ出兵し高句麗と交戦 ※辛卯…干支の1つ

(2) ²⁵ の諸王朝に遣使・朝貢→²⁶冊封を受ける(高い称号を得る)

①²⁷ の遣使 (「²⁸宋書」・「晋書」・「南齊書」・「梁書」)

²⁹ . . . (珍は讚の弟、興は済の子、武は興の弟)

古事記や日本書紀で時期や血縁関係から当てはまる天皇をさがすと、讚は応神または履中、

珍は反正または仁徳、済は允恭、興は安康、武は³⁰ 天皇と推定されている。

②³¹ 年、³²倭王武の上表文 史料…³³「宋書」倭国伝

「祖禰(先祖)」が³⁴毛人(東)・³⁵衆夷(西)・³⁶海北を制圧した」と述べている

エミシ(蝦夷)? クマソ(熊襲)?

ポイント ³⁷朝鮮諸国に対して有利な政治的地位の獲得を目指す

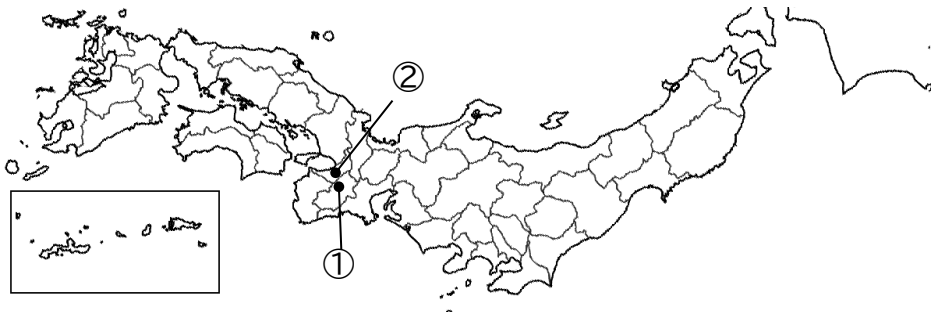
<例> 倭王武は「使持節都督倭百濟新羅任那加羅秦韓慕韓七国諸軍事安東大將軍倭国王」を自称し、
「使持節都督倭新羅任那加羅秦韓六国諸軍事安東大將軍倭王」を獲得

☆考古学上の発見と文献資料が一致！

- ① 1978年、38 _____ 古墳[埼玉]出土³⁹鉄剣銘文が解説され、「40 _____」や「⁴¹辛亥年(471)」などの文字が確認される。
- ② この銘文の人名は「⁴² _____ 大王」と読める。
 雄略天皇の本名は「大泊瀬幼武(オオハツセワカタケ)」であり、似ている。
 また、雄略は倭王武と推定されている。武も「タケル」とも読める。
 武の上表文は478年だが、稲荷山鉄剣銘文は471年で、ほとんど同じ時期である。
 →⁴³雄略天皇＝倭王武＝ワカタケル大王とみてよい。
- ③ 1973年に発見されていた⁴⁴ _____ 古墳[熊本]出土⁴⁵鉄刀銘文に「甕□□□鹵大王」とあり、読み方不明だったが、これで明らかになった。
 →同じ大王の支配が少なくとも関東から九州まで及んでいたことになる。
- ①～③から、倭王武が上表文で述べていた「毛人(東)・衆夷(西)・海北を制圧しているという話は誇張ではないことが分かる。

※この⁴⁶ _____ がヤマト政権の首長→のちの天皇と考えられる

作業 図表44・48ページを見て位置を書き込みなさい。



- ①箸墓古墳 ②大仙陵古墳・誉田御廟山古墳 ③造山古墳 ④江田船山古墳
 ⑤埼玉古墳群(稲荷山古墳) ⑥五色塚古墳 ⑦竹原古墳 ⑧岩橋千塚古墳群
 ⑨岩戸山古墳 ⑩隅田八幡神社(和歌山県橋本市)

※干支…十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)と十二支(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)を組み合わせた60進法表示年・日などに使われた <例> 辛卯、辛亥、癸未、壬申(の乱)、戊辰(戦争)、甲子(園球場)

正誤問題練習 <大学入試センター1991年本試験[改]、95年追試験より>

- X. 『宋書』倭国伝には、倭王武が宋王朝に上表文を送り、高い称号を得ようとしたと記している。
 Y. 好太王(広開土王)碑文によると、倭が新羅・百済の領有をめぐって高句麗と戦った。